

FID用エアークリーン装置 AOE2300/AOE2700



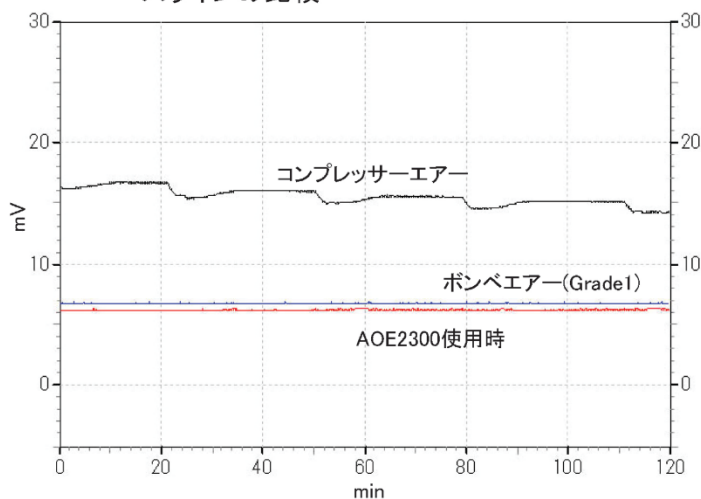
FIDの高感度分析に
コンプレッサーエアークリーン可能



- ◆ FID検出器の汚染を防止
- ◆ 反応管加熱ヒーターに過昇温防止機能を搭載

GC-FIDの助燃ガスにコンプレッサーエアークリーンを使用すると、バックグラウンドが上がり、コンプレッサーのON-OFFに同期したベースラインの変動が起こるため、キャピラリーカラムなどの高感度分析が難しいのが実情です。このバックグラウンドの上昇やベースライン変動の原因は、圧縮空気に含まれる炭化水素の影響です。AOEシリーズで処理したコンプレッサーエアークリーンは、高純度ポンプエアークリーン並の炭化水素濃度を実現します。ポンプエアークリーンを購入することなく高感度分析が可能になるため、ランニングコストを低減できます。

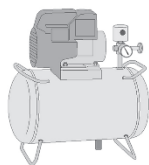
ベースラインの比較



System : GC-4000
Col.Temp. : 80 °C
Detection : FID 150 °C
H₂流量 : 35 mL / min
Air流量 : 250 mL / min
MakeUp Gas : N₂ 30 mL / min
Renge : 10⁰

比較対照ポンプエアークリーン
Pure Gas Air Grade1 : THC 0.1 vol.ppm 以下

接続例



オイルフリー
エアークOMPレッサ

圧縮空気浄化機器

- ・フィルター
- ・エアードライヤー
- ・レギュレーター など

※浄化機器については、AOEシリーズの設置環境などにより、変わってきます。最寄りの支店または営業所にお問い合わせください。

ちり、ほこり、油分、水分を除去した乾燥空気



FIDエアークOMP装置
AOE2300 / AOE2700

炭化水素が低減された圧縮空気



ガスクロマトグラフ GC-4000 (FID)

仕様

型 式	AOE2300	AOE2700
供 給 ガ ス	ちり、ほこり、油分、水分を除去した乾燥空気	
最 大 空 気 流 量	2 L/min	10 L/min
供 給 空 気 圧 力 範 囲	50~800 kPa	
圧 力 損 失	0.7 kPa (最大流量時)	0.6 kPa (最大流量時)
供 給 空 気 最 高 温 度	35 °C	
炭 化 水 素 処 理 能 力	Max.100 ppm (as methane)	
ス タ ー ト ア ッ プ 時 間	約20分	約45分
安 全 機 能	ヒーター過熱防止回路	
配 管 接 続 口 径	O.D.1/8インチ チューブ接続	Rc 1/4
環 境 温 度	5~40 °C	
環 境 湿 度	~85 %RH(ただし、結露しないこと)	
外 形 寸 法	160(W)×380(D)×143(H) mm	200(W)×400(D)×460(H) mm
質 量	約4 kg	約14 kg
電 源	AC100 V 50/60 Hz ±10 % 3 A	AC100 V 50/60 Hz ±10 % 4 A
Cat.No.	2702-19230	2702-19270
価 格	230,000	490,000

AOE専用メンブレンドライヤー

AOE2300/AOE2700は、処理する圧縮空気中の水分が多いと炭化水素除去効率が低下します。AOE専用メンブレンドライヤーは、冷凍機などで乾燥させた圧縮空気をさらに乾燥させることができ、炭化水素除去能力を向上させることができます。

注)メンブレンドライヤーは、空気を乾燥させるため、圧力に応じ一定流量の乾燥空気が常時バージ側に流れる構造となっています。使用乾燥空気量以上に圧縮空気がメンブレンドライヤーに入りますので、あらかじめご了承ください。

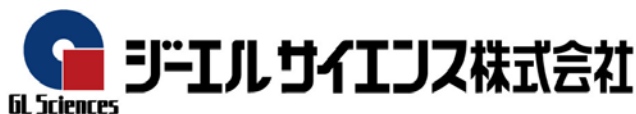
詳しくは、http://www.gls.co.jp/product/catalog/07/24_a.htmlをご覧ください。

品 名	Cat.No.	価 格
AOE2300専用メンブレンドライヤー	3001-17701	85,000
AOE2700専用メンブレンドライヤー	3001-17700	104,000

⚠ 設置環境についての注意事項

コンプレッサー周辺の大気環境に注意してください。

コンプレッサーエアークOMPに硫黄化合物やハロゲン系有機溶媒が含まれている環境では、AOEシリーズの炭化水素除去管内で強酸性物質が生成され、本機および本機から圧縮空気を供給する分析機器、配管類の故障の原因となるため使用できません。

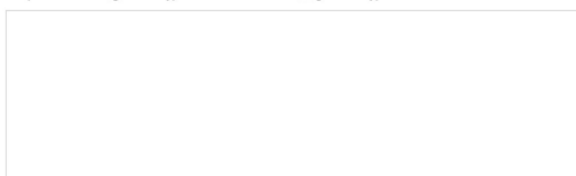


東京営業部	TEL.03(5323)6611	FAX.03(5323)6622
大阪支店	TEL.06(6220)0500	FAX.06(6220)0601
(2017年8月移転)		
横浜支店	TEL.045(985)7900	FAX.045(985)7901
東北営業所	TEL.024(534)2191	FAX.024(536)1518
筑波営業所	TEL.029(858)3700	FAX.029(858)3780
北関東営業所	TEL.048(667)1611	FAX.048(667)1656
千葉営業所	TEL.043(248)2441	FAX.043(248)2485
名古屋営業所	TEL.052(931)1761	FAX.052(931)1814
広島営業所	TEL.082(233)1101	FAX.082(233)1110
九州営業所	TEL.092(738)6633	FAX.092(738)6636

総合技術センター	TEL.04(2934)2121	FAX.04(2934)2128
カスタマーサポートセンター	TEL.04(2934)1100	FAX.04(2934)3361
福島工場	TEL.024(533)2244	FAX.024(534)2139

- 掲載している価格には消費税が含まれていません。
- 改良のため、型式、価格、仕様などにつきましては予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本カタログに掲載している会社名および製品名は、それぞれ該当する各社の商標、または登録商標です。
- 本文中には TM および ® マークは明記していません。
- データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。また、記載事項につきましては、予告無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本社 〒163-1130 東京都新宿区西新宿6丁目22番1号 新宿スクエアタワー30F
TEL.03(5323)6611 FAX.03(5323)6622
<http://www.gls.co.jp> E-mail:info@glsc.co.jp



⚠ 安全に関するご注意
ご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

AA730-20100816PDF